

令和7年度丹波篠山市在宅医療・介護連携推進事業報告

【目標】

住み慣れた丹波篠山市で、互いを認め合い、人生の最期までを安心して暮らし続けられるよう、医療・介護等の関係機関における多職種が連携し、切れ目のない在宅医療・介護が提供できる体制を整備する。

【具体的項目】

① 医療・介護事業者間の情報連携

- ・篠山つながり手帳の運用継続と電子化（ヘルスケアパスポートの運用）等による多職種連携の充実
- ・入退院時における継続的支援への連携の充実

② 人生会議の周知・啓発と実施

- ・多職種連携会議「この指と〜まれ」の年間のテーマを「人生会議（ACP）」とし、専門職の知識向上を図る。
- ・市民に「わたしの大事をつなぐノート」・「人生会議」の周知を続ける。

【実施内容】

日 時	内 容
R7.5.15	第1回多職種連携会議「この指と〜まれ」開催 テーマ：多職種連携について 参加者 81人 ミニ講義：「篠山つながり手帳の電子化に向けた取り組みの現状」 講師：丹波篠山市医師会 会長 片山 覚医師 意見交換：より良いツールにするために、私たちの立場から伝えたいこと
R7.8.29	第1回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会開催 ・R6年度計画報告 ・「人生会議」市民フォーラムについて
R7.9.11	第2回多職種連携会議「この指と〜まれ」開催 テーマ：人生会議について 参加者 67人 事例検討：「医療と介護ニーズのある方の思いを最期まで支える～人生会議への関わり方や私の職種でどのような支援ができる？～」 情報提供：定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、 看護小規模多機能型居宅介護
R7.9	退院時調整ルールに関する運用調査（介護支援専門員・丹波圏域内病院）
R7.11.30	「最期まで自分らしく生きるための在宅医療・介護に関する市民フォーラム」開催 丹波篠山市民センター多目的ホール 参加者：130人 講演：「いい人生やったなあ」と言える日のために～息子を看取った家族の立場・医師の立場から」 講師：かえでホームクリニック顧問 関本 雅子医師 広報11月特集号掲載
R7.12.2	丹波圏域退院時調整ルール推進検討会 丹波圏域7病院と介護支援専門員代表との意見交換・検討
R8.1.15	第3回多職種連携会議「この指と〜まれ」 テーマ：歯科診療と多職種連携について 参加者 55人 ミニ講義：「歯科訪問診療の今 歯科における多職種連携の実際」 講師：丹波篠山市歯科医師会 会長 有本貴昌医師 意見交換：「こんな時に歯科と連絡したい・連絡して欲しい」
R8.1～2	篠山つながり手帳運用状況及び多職種連携状況調査実施
R8.2.18	丹波篠山市介護サービス事業者協議会へ「ヘルスケアパスポートについての現状報告」実施
R8.3.6	第2回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会開催